

<事業所全体による自己評価> R1.11.09実施

きらら園

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過 令和2年11月時点
児童発達支援計画には、発達支援・家族支援・地域支援に必要な項目が選択され、具体的な支援内容が記載されていますか	「わからない」に2人チェックがついていたため	説明が不十分であった	次回説明時にきちんと説明をする	個別支援説明時に、項目の説明をしっかりと行う	令和2年度	送迎時に実施するのではなく、時間を取って対面式で実施したため、今年度のアンケートでは100%を達成している。
利用児童の主治医と情報共有し、医療的ケアが十分に行えるよう配慮されていますか	具体的に意見を書きたい方がいたため	担当者会議で顔を合わせた方とは連携をとりやすいが、他は保護者を通して連携をとっている。保護者にどこまでこのニーズがあるか確認できていない。こちらが必要と思うときに連絡を取るようしていた。	具体的連携方法を考える	送迎時に訪問看護との連携を取る→きらら園の連絡ノートを見もらう等<主治医に関して>必要時に保護者を通してもしくは保護者に許可を得て直接連絡を取る担当者会議で確認する	令和2年度	きらら園の連絡ノートによるやり取りについて改善していく。主治医とのやりとりをしたい時は、保護者を通してメモ等を渡していた。今後はメモ等を渡す際には保護者児の状態を周知するためにも、経過を書いて伝えて渡すようにする。また、外来日の確認を行っていく。
保護者会等の開催等により保護者同士の連携が持てるような機会が設定されていますか	「わからない」にチェックがついていたのと職員間でも課題とされているため	保護者の集まりを定期的に行っているが、就労されている方の参加が難しい	就労している方が参加できる方法を考える	集まりをする時間帯・内容の見直し早めの連絡をする	令和2年度	今後は行事等の日程を決める際には保護者に参加出来る日を確認していく。また、日頃のフィードバックの質の向上を図り保護者との信頼関係を築いていく。